



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
 コード番号 2370 URL https://www.medinet-inc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,314	△6.3	△1,455	—	△1,399	—	△1,417	—
28年9月期第3四半期	1,404	12.0	△1,135	—	△1,269	—	△1,086	—

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 △1,220百万円 (—%) 28年9月期第3四半期 △1,113百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△15.29	—
28年9月期第3四半期	△11.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	6,817	4,990	72.5
28年9月期	7,646	5,931	77.0

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 4,939百万円 28年9月期 5,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	17.9	△1,967	—	△1,951	—	△1,961	—	△21.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	94,927,324株	28年9月期	92,678,009株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	一株	28年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	92,757,839株	28年9月期3Q	90,752,117株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・決算補足説明資料は、本日平成29年8月4日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの事業環境

2012年、ヒトiPS細胞の発見により京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したことを契機として、国内における再生・細胞医療分野の健全な発展への機運が高まり、2014年11月に再生・細胞医療を、より安全により早く患者に届けることができる、新たな2つの法的枠組みが設けられました。1つは「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」で、これまでは医療機関のみが許されていた治療に用いる細胞加工について、特定細胞加工物製造許可を取得した企業が細胞加工を受託できるようになりました。もう1つは「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」で、従来の医薬品、医療機器とは別に「再生医療等製品」という新たなカテゴリーが設けられ、安全性が確保され効果が推定されれば、条件・期限付きで早期に承認される仕組みが導入されました。

これらの新たな法的枠組みの下、当社グループは、これまでに17万件以上の細胞加工実績で培ってきた様々なノウハウ・経験を集約した細胞培養加工施設を羽田空港に近い品川に設置し、再生・細胞医療に取り組む製薬企業、大学、医療機関/研究機関等から、特定細胞加工物や再生医療等製品の製造を受託するべく、細胞加工業やCDMO事業の更なる拡大を目指しております。（図1）。また、収益拡大をすべく、再生・細胞医療のバリューチェーン事業化を目指し、再生・細胞医療のコンサルティング、細胞培養加工施設の運営管理、細胞加工技術者の派遣・教育システムの提供等を行っております（図2）。さらに、細胞医療製品事業においては、条件・期限付きの承認制度を活用し、細胞医療製品（再生医療等製品の1つ）の製造販売承認を早期に取得するべく準備を進めております。

図1. 再生・細胞医療に関連する法整備により変化したビジネスモデル

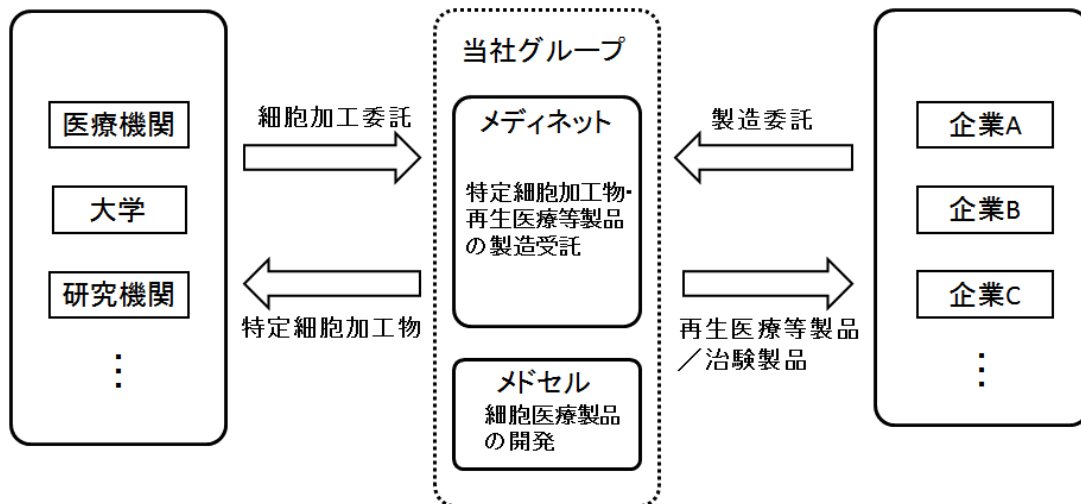
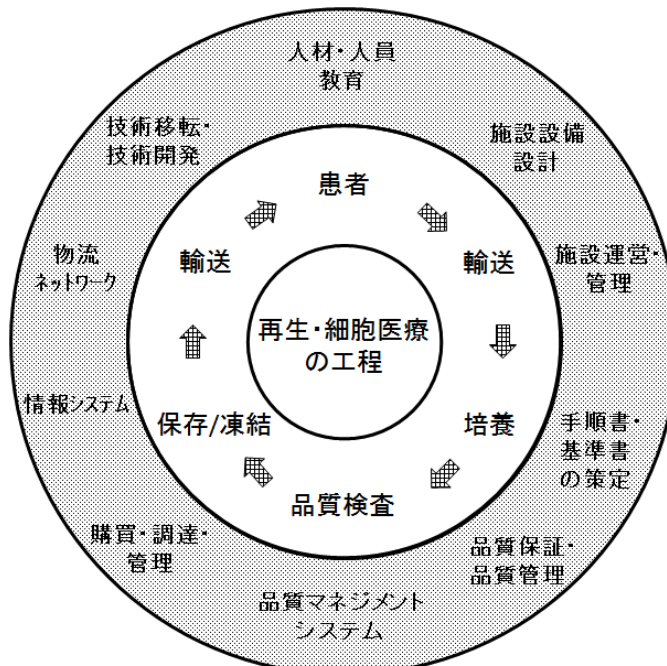


図2. 再生・細胞医療のバリューチェーン



②売上高・損益

（金額単位：百万円）

	売上高	営業損失（△）	経常損失（△）	親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	1株当たり 四半期純損失 金額（△）
当第3四半期 連結累計期間	1,314	△1,455	△1,399	△1,417	△15.29円
前第3四半期 連結累計期間	1,404	△1,135	△1,269	△1,086	△11.97円
増減率（％）	△6.3	－	－	－	－

売上高については、バリューチェーン事業における受注件数が増加しており、茨城県立こども病院に対する売上や順天堂大学から受託した施設運営管理受託業務に対する売上などが増えましたが、免疫細胞療法総合支援サービスの売上が前年同期に比べて減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,314百万円となり、前年同期に比べ89百万円減少（前年同期比6.3%減）となりました。

損益面では、営業強化のための人材投入を図り販売費が増加し、また、細胞医療製品事業の推進のための研究開発費が増加した一方で、その効果を発揮するまでには想定以上の時間を要しているため、営業損失は1,455百万円、経常損失は1,399百万円並びに親会社株主に帰属する四半期純損失は1,417百万円となりました。

③セグメント別の概況

（金額単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 2	
	細胞加工業		細胞医療製品事業			セグメント 損失 (△)	売上高
	売上高	セグメント 損失 (△)	売上高	セグメント 損失 (△)			
当第3四半期 連結累計期間	1,314	△334	0	△601	△520	1,314	△1,455
前第3四半期 連結累計期間	1,396	△282	7	△359	△494	1,404	△1,135

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

〔細胞加工業〕

売上高は、細胞培養加工施設の設置・運営管理業務の受託や細胞加工の技術開発の受託等、バリューチェーン事業の受託案件数は増加した一方で、免疫細胞療法総合サービスの売上が前年同期に比べて減少したことや予定していた新規細胞加工受託案件がずれ込んだこと等により、1,314百万円となり前年同期に対して81百万円減少しました。セグメント損失は、売上原価は減少したものの、販売費の増加等により334百万円となりました。

〔細胞医療製品事業〕

細胞医療製品につながるシーズ探索、技術の改良、知的財産の権利確保等による研究開発投資により、セグメント損失は601百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（連結財政状態）

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
資産合計（百万円）	7,646	6,817	△829
負債合計（百万円）	1,715	1,826	111
純資産合計（百万円）	5,931	4,990	△940
自己資本比率（％）	77.0	72.5	－
1株当たり純資産（円）	63.51	52.04	△11.47

資産合計は、前連結会計年度末に比べて829百万円減少しました。主な増加は、投資有価証券238百万円、主な減少は、現金及び預金390百万円、有価証券200百万円、長期貸付金161百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて111百万円増加しました。主な増加は転換社債型新株予約権付社債112百万円です。

純資産の部は、株主総会決議に基づき繰越利益剰余金の欠損填補を行った結果、資本金が963百万円、資本剰余金が8,191百万円減少し、利益剰余金が9,154百万円増加しております。純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失1,417百万円の減少となった一方、第三者割当増資及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加274百万円及びその他有価証券評価差額金の増加196百万円、新株予約権の増加6百万円となり、その結果、前連結会計年度末に比べて940百万円減少しました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.0％から72.5％となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は平成28年11月8日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想をセグメント別に表すと以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結予想額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,247	3	2,250	－	2,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,247	3	2,250	－	2,250
セグメント損失（△）	△327	△910	△1,237	△730	△1,967

（注）1. セグメント損失（△）の調整額△730百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失（△）は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,494,270	2,103,556
売掛金	358,674	300,019
有価証券	1,100,000	900,000
原材料及び貯蔵品	60,414	49,786
その他	298,382	311,800
流動資産合計	4,311,742	3,665,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,204,222	1,093,405
その他(純額)	265,564	231,826
有形固定資産合計	1,469,787	1,325,231
無形固定資産	265,199	210,165
投資その他の資産		
投資有価証券	432,917	671,012
長期貸付金	1,186,951	1,025,500
長期前払費用	403,074	338,027
貸倒引当金	△580,000	△577,500
その他	156,905	159,885
投資その他の資産合計	1,599,850	1,616,925
固定資産合計	3,334,836	3,152,322
資産合計	7,646,578	6,817,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,894	87,111
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	34,789	5,128
賞与引当金	81,437	40,623
資産除去債務	—	23,883
その他	231,846	238,784
流動負債合計	1,245,968	1,195,530
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	75,000	187,500
資産除去債務	210,410	208,222
その他	184,118	235,587
固定負債合計	469,528	631,310
負債合計	1,715,496	1,826,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,778,593	5,952,692
資本剰余金	8,191,153	137,221
利益剰余金	△9,154,581	△1,418,111
株主資本合計	5,815,165	4,671,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,004	267,919
その他の包括利益累計額合計	71,004	267,919
新株予約権	44,911	50,921
純資産合計	5,931,081	4,990,643
負債純資産合計	7,646,578	6,817,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,404,001	1,314,963
売上原価	788,016	726,130
売上総利益	615,985	588,833
販売費及び一般管理費	1,751,719	2,044,463
営業損失(△)	△1,135,734	△1,455,630
営業外収益		
受取利息	31,335	19,509
為替差益	—	78,292
設備賃貸料	5,656	5,656
その他	3,206	5,973
営業外収益合計	40,198	109,431
営業外費用		
支払利息	9,249	7,639
社債発行費等	—	8,177
為替差損	146,113	—
投資事業組合運用損	11,675	33,080
設備賃貸費用	4,872	4,500
その他	2,414	375
営業外費用合計	174,325	53,772
経常損失(△)	△1,269,861	△1,399,971
特別利益		
投資有価証券売却益	198,634	—
貸倒引当金戻入額	—	2,500
特別利益合計	198,634	2,500
特別損失		
固定資産除却損	481	766
減損損失	1,594	9,830
投資有価証券評価損	3,733	1,999
関係会社清算損	3,318	—
特別損失合計	9,127	12,596
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,080,353	△1,410,068
法人税、住民税及び事業税	8,350	8,183
法人税等調整額	△2,609	△446
法人税等合計	5,741	7,737
四半期純損失(△)	△1,086,095	△1,417,806
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,086,095	△1,417,806

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,086,095	△1,417,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,380	196,915
その他の包括利益合計	△27,380	196,915
四半期包括利益	△1,113,475	△1,220,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,113,475	△1,220,890
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

当社が平成27年10月に発行した第2回無担保転換社債型新株予約権付社債は、新株予約権の行使によりその一部が平成28年4月及び5月に株式へ転換されました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が212,500千円、資本剰余金が212,500千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,778,593千円、資本剰余金が8,191,153千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

当社は、平成28年12月21日開催第21回定時株主総会の決議に基づき、平成29年1月31日付で繰越利益剰余金の欠損填補を行いました。この結果、資本金が963,123千円、資本剰余金が8,191,153千円減少し、利益剰余金が9,154,276千円増加しました。なお、これによる株主資本の合計金額への影響はありません。

また、当社は、平成29年6月19日付でマッコーリー・バンク・リミテッド及びシミックホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当により新株を発行しました。平成29年6月に発行した第3回無担保転換社債型新株予約権付社債は、新株予約権の行使によりその一部が平成29年6月に株式へ転換されました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が825,901千円、資本剰余金が8,053,931千円減少し、利益剰余金が7,736,470千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,952,692千円、資本剰余金が137,221千円、利益剰余金が△1,418,111千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,396,403	7,598	1,404,001	—	1,404,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,396,403	7,598	1,404,001	—	1,404,001
セグメント損失(△)	△282,135	△359,424	△641,560	△494,173	△1,135,734

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△494,173千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,314,934	28	1,314,963	—	1,314,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,314,934	28	1,314,963	—	1,314,963
セグメント損失(△)	△334,172	△601,389	△935,562	△520,067	△1,455,630

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△520,067千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。